

郵政解散

緊急電話調査

報告書

(2005年8月8日～9日調査)

調査の設計	1
結果の概要	3
単純集計	9
調査票	10



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

調査の設計

調査の目的

郵政事業の民営化を構造改革の根幹に据える小泉純一郎首相は、参議院の法案審議の土壇場で、党内の根強い反対勢力に対して、衆院選解散を振りかざした説得も奏功せず、大差の否決をうけて、ついに解散カードを切るに至った。改革を掲げて突き進んだ在任4年を経て、残る1年（自民党総裁任期）の総仕上げの段階で、決定的なつまずきに遭った。

慌しく突入する選挙戦で、民意に問われるものは、否応なしに目前の郵政民営化の可否をこえていく。期限が迫るイラクの自衛隊駐留、手詰まり状態の近隣アジア関係・北朝鮮交渉、膨れ上がる財政赤字、安定的な社会保障の模索、憲法見直しの底流...と、課題は内外に山積しており、小泉内閣の政策、政治手法に対する総体的な評価となる。

“分裂選挙”を余儀なくされる自民党に対して、政権奪取へと攻め込む民主党、そのはざ間で独自性にかける公明党、共産党、社民党のせめぎ合い。いまだ模索が続く「二大政党政治」に、更なる展開が予感される“政治活性化”の節目ともいえる。

政治的空白をのみこんで真夏の加熱する政治を、県民がどう見つめ、どのような方向を託そうとしているのか、緊急調査で探る。

調査の設計

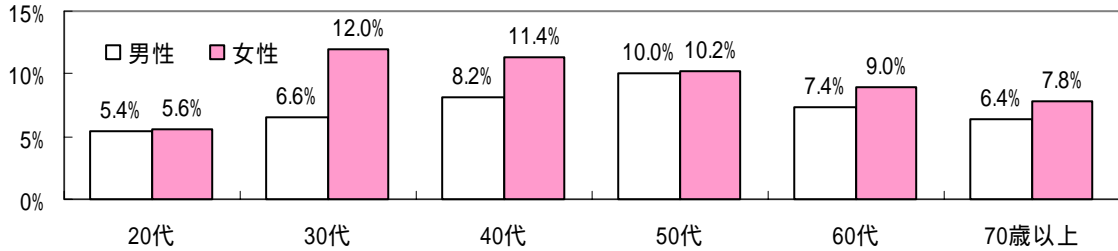
調査対象	県内18市に住む20歳以上の男女500人
抽出方法	県内を東北中南の4地区に分け、さらに20~70代の6つの年代層・性に分割し“県下の有権者の縮図”となるように人数を比例配分して、各市の対象者数を設定。 N T Tの電話帳から一定のルールで無作為抽出した世帯にコールして、設定した年代・性の人を選んだ。目標数の500人に達するまで抽出して聞き取りを行った。
調査地点	18市
調査時期	2005年8月8日~9日
調査方法	電話
有効回答	500人（男性220人、女性280人）

<注> 報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

< サンプルの内訳 >

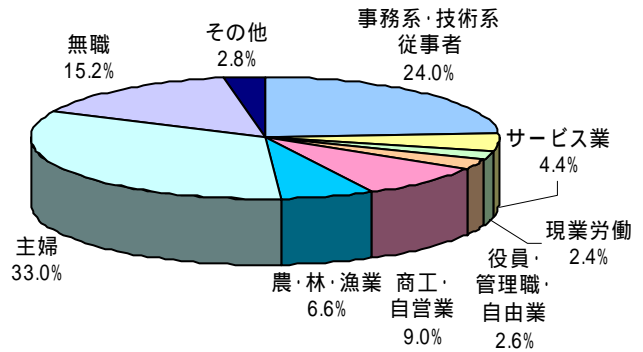
【性別と年代】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全体	500	55	93	98	101	82	71
	100.0%	11.0%	18.6%	19.6%	20.2%	16.4%	14.2%
男性	220	27	33	41	50	37	32
	44.0%	5.4%	6.6%	8.2%	10.0%	7.4%	6.4%
女性	280	28	60	57	51	45	39
	56.0%	5.6%	12.0%	11.4%	10.2%	9.0%	7.8%



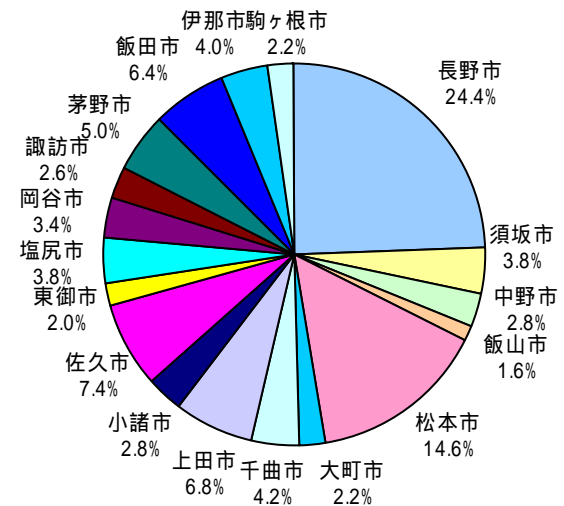
【職業】

事務系・技術系従事者	120	24.0%
サービス業	22	4.4%
現業労働	12	2.4%
役員・管理職・自由業	13	2.6%
商工・自営業	45	9.0%
農・林・漁業	33	6.6%
主婦	165	33.0%
無職	76	15.2%
その他	14	2.8%



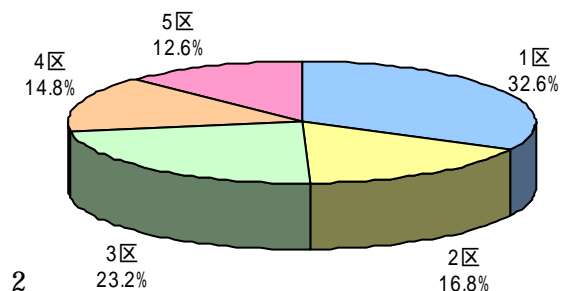
【市別】

長野市	122	24.4%
須坂市	19	3.8%
中野市	14	2.8%
飯山市	8	1.6%
松本市	73	14.6%
大町市	11	2.2%
千曲市	21	4.2%
上田市	34	6.8%
小諸市	14	2.8%
佐久市	37	7.4%
東御市	10	2.0%
塩尻市	19	3.8%
岡谷市	17	3.4%
諏訪市	13	2.6%
茅野市	25	5.0%
飯田市	32	6.4%
伊那市	20	4.0%
駒ヶ根市	11	2.2%



【選挙区】

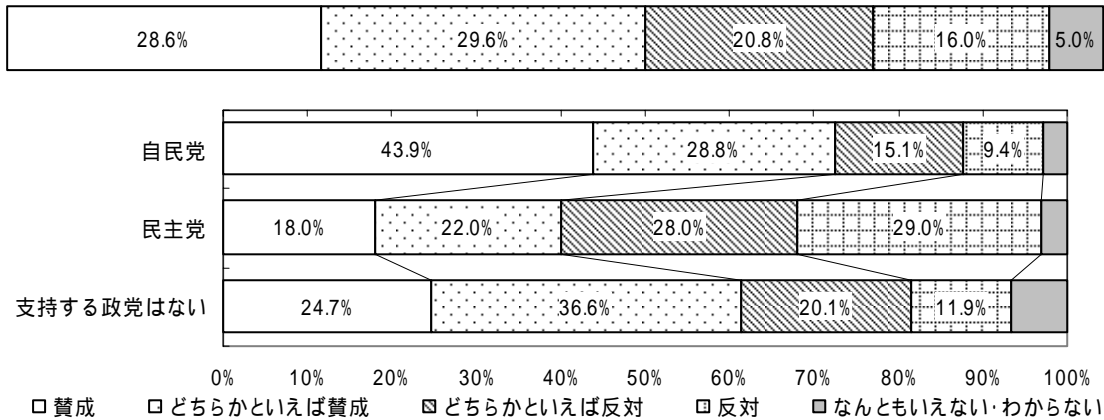
1区	163	32.6%
2区	84	16.8%
3区	116	23.2%
4区	74	14.8%
5区	63	12.6%



結果の概要

郵政民営化の是非

「賛成」過半数～自民支持層で73% 無党派層60%台



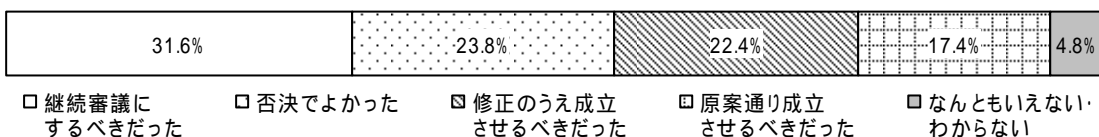
郵政事業の民営化に「賛成」が総体で半数を超え58%。「反対」は40%を割った。「賛成」で男女がほぼ並び、30～50代で60%台の高さを示した。

政党支持層では、自民党で「賛成」が70%台に到達したが、民主党では40%。無党派層は61%と平均値をやや上回った。小泉内閣の弱めの支持層では「反対」が20%に近づく。

	標本数	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	なんともいえない・わからない
全体	500	143	148	104	80	25
	100.0	28.6	29.6	20.8	16.0	5.0
性別						
男性	220	32.3	25.5	18.2	19.1	5.0
女性	280	25.7	32.9	22.9	13.6	5.0
年代						
20代	55	30.9	27.3	21.8	12.7	7.3
30代	93	23.7	39.8	29.0	6.5	1.1
40代	98	33.7	26.5	20.4	11.2	8.2
50代	101	33.7	27.7	18.8	14.9	5.0
60代	82	24.4	34.1	20.7	17.1	3.7
70歳以上	71	23.9	19.7	12.7	38.0	5.6

民営化法案の扱い

「原案成立すべきだった」17% 「否決でよい」24%



参議院で否決された民営化法案の望ましい取り扱いについて「継続審議」が32%と最も多く「否決でよかった」と「修正のうえ成立」が20%台でほぼ並ぶ。「原案通り成立」は最も少なく17%にとどまる。

年代層では50代で「成立」が高め。40代までは「継続審議」「否決」が増えている。70代は「否決」が30%台にのせ最も高い。

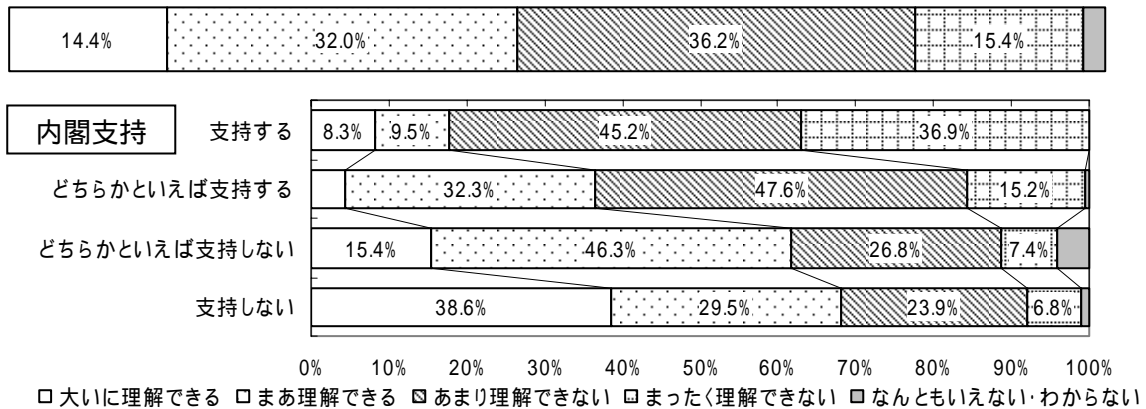
内閣の強い支持層は「原案通り」が半数にのぼり、逆に強い不支持層は「否決」が半数

に迫る。政党支持層では、自民党で「継続審議」「修正」「原案通り」が並ぶ。民主党では「否決」が40%台で最も高い。

		標本数	継続審議にするべきだった	否決でよかった	修正のうえ成立させるべきだった	原案通り成立させるべきだった	なんともいえない・わからない
全体		500	158	119	112	87	24
		100.0	31.6	23.8	22.4	17.4	4.8
年代	20代	55	34.5	25.5	20.0	18.2	1.8
	30代	93	35.5	24.7	24.7	9.7	5.4
	40代	98	35.7	26.5	22.4	14.3	1.0
	50代	101	31.7	16.8	22.8	23.8	5.0
	60代	82	28.0	20.7	24.4	19.5	7.3
	70歳以上	71	22.5	31.0	18.3	19.7	8.5
	小泉内閣	支持する	84	9.5	4.8	28.6	50.0
どちらかといえば支持		164	31.7	9.1	35.4	17.7	6.1
どちらかといえば不支持		149	42.3	36.2	12.8	5.4	3.4
支持しない		88	35.2	48.9	8.0	5.7	2.3
なんともいえない		15	26.7	20.0	26.7	20.0	6.7

自民議員の反対・棄権

「理解できない」52% 強い内閣支持層で「理解」18%



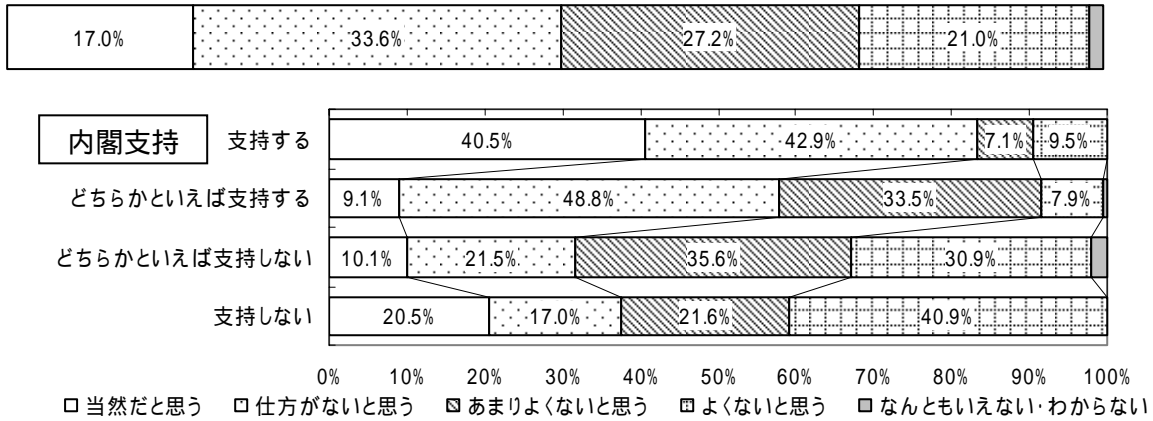
自民党議員が党の方針に反して、民営化法案に反対・棄権したことに「理解できる」は総体で46%だったが「理解できない」が過半数を占めた。男性の「理解」が約半数にのびたが、女性では40%台にとどまる。

自民党支持層では「理解」が総体で34%。無党派層では「理解できる」が半数を超えるが「理解できない」が数が1ポイント差で迫る。

		標本数	大いに理解できる	まあ理解できる	あまり理解できない	まったく理解できない	なんともいえない・わからない
全体		500	72	160	181	77	10
		100.0	14.4	32.0	36.2	15.4	2.0
年代	20代	55	5.5	38.2	38.2	18.2	-
	30代	93	8.6	35.5	39.8	12.9	3.2
	40代	98	17.3	35.7	33.7	13.3	-
	50代	101	14.9	25.7	38.6	15.8	5.0
	60代	82	13.4	37.8	32.9	14.6	1.2
	70歳以上	71	25.4	19.7	33.8	19.7	1.4
	政党支持	自民党	139	8.6	25.2	43.9	21.6
民主党		100	21.0	39.0	25.0	12.0	3.0
公明党		22	13.6	9.1	54.5	18.2	4.5
共産党		19	31.6	21.1	26.3	21.1	-
社民党		16	25.0	31.3	25.0	12.5	6.3
その他の政党		1	-	-	-	100.0	-
支持する政党はない		194	12.9	38.7	35.6	10.8	2.1
いいたくない	9	11.1	-	55.6	33.3	-	

否決 - 解散の小泉手法

容認が総体で51%～自民支持層で「よくない」40%



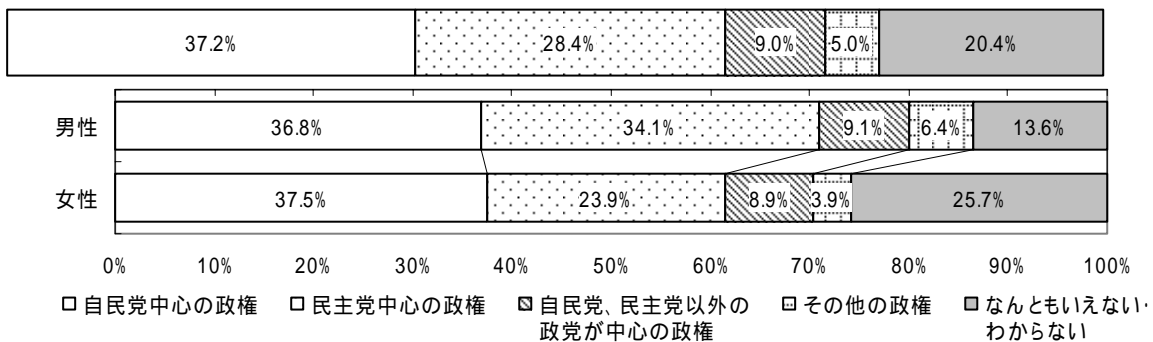
参議院の否決をうけて衆議院を解散した小泉首相の政治手法に「よくない」が50%に迫るが「仕方がない」を含む容認が半数をクリア。男性で「当然だと思う」が20%台にのり女性との開きがめだつ。30、40、70代では容認が総体で半数を突破する。

自民党支持層では容認が総体で60%にのぼるが「よくない」も40%。小泉内閣の強い支持層では「当然だ」だけで40%台に達するが「よくない」が17%ある。

	標本数	当然だと思う	仕方がないと思う	あまりよくないと思う	よくないと思う	なんともいえない・わからない	
全体	500	85	168	136	105	6	
	100.0	17.0	33.6	27.2	21.0	1.2	
年代	20代	55	10.9	32.7	40.0	16.4	-
	30代	93	14.0	49.5	24.7	9.7	2.2
	40代	98	14.3	35.7	26.5	22.4	1.0
	50代	101	19.8	29.7	19.8	28.7	2.0
	60代	82	14.6	24.4	39.0	20.7	1.2
	70歳以上	71	28.2	26.8	18.3	26.8	-
政党支持	自民党	139	18.7	41.0	24.5	15.8	-
	民主党	100	17.0	27.0	33.0	22.0	1.0
	公明党	22	9.1	31.8	18.2	36.4	4.5
	共産党	19	26.3	26.3	5.3	42.1	-
	社民党	16	18.8	18.8	31.3	31.3	-
	その他の政党	1	-	100.0	-	-	-
	支持する政党はない	194	15.5	33.5	28.9	20.1	2.1
いいたくない	9	22.2	33.3	33.3	11.1	-	

選挙後の政権

「自民中心」37% 「民主中心」28%



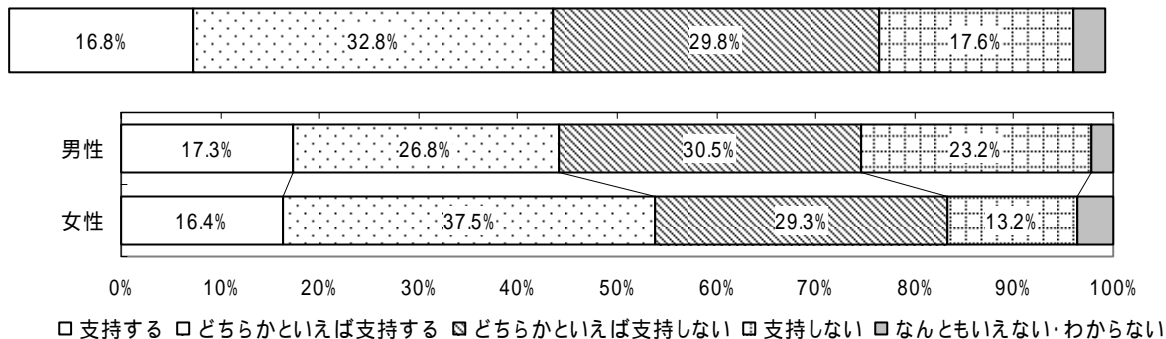
衆議院の審判を受けた後の政権として、これまでの「自民党中心」を望むのが37%。新たな「民主党中心」は28%。「自民党中心」で男女差はほとんど見られないが「民主党中心」では、男性34% - 女性24%の落差がめだつ。

年代層では40代で唯一「民主党中心」が僅かながら上回る。無党派層では「自民党中心」29% - 「民主党中心」22%。

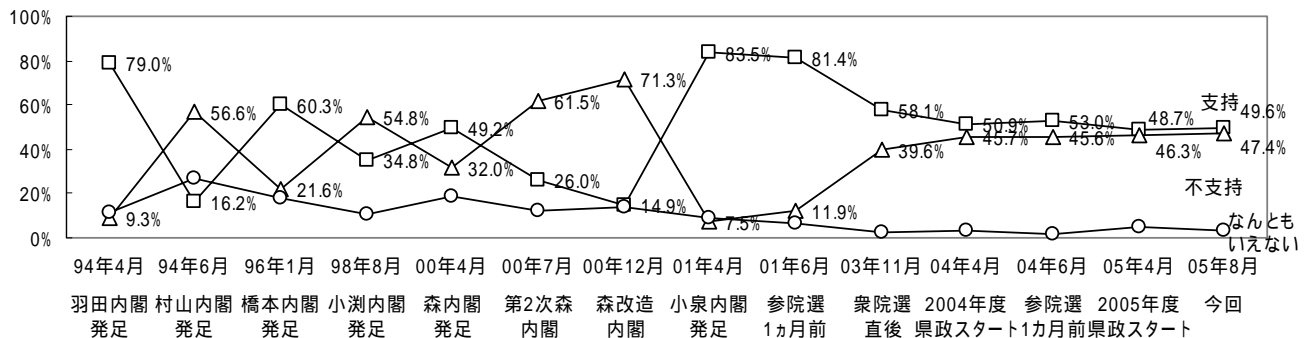
	標本数	自民党中心の政権	民主党中心の政権	自民党、民主党以外の政党が中心の政権	その他の政権	なんともいえない・わからない	
全体	500	186	142	45	25	102	
	100.0	37.2	28.4	9.0	5.0	20.4	
年代	20代	55	36.4	29.1	16.4	1.8	16.4
	30代	93	40.9	20.4	8.6	4.3	25.8
	40代	98	28.6	31.6	12.2	6.1	21.4
	50代	101	40.6	26.7	5.0	5.9	21.8
	60代	82	36.6	28.0	7.3	7.3	20.7
	70歳以上	71	40.8	36.6	7.0	2.8	12.7
政党支持	自民党	139	79.1	5.8	3.6	2.9	8.6
	民主党	100	9.0	77.0	2.0	5.0	7.0
	公明党	22	27.3	13.6	40.9	9.1	9.1
	共産党	19	10.5	21.1	42.1	10.5	15.8
	社民党	16	-	25.0	37.5	6.3	31.3
	その他の政党	1	100.0	-	-	-	-
	支持する政党はない	194	29.4	21.6	7.7	5.2	36.1
	いいたくない	9	11.1	44.4	-	11.1	33.3

内閣の評価

「支持する」女性54% - 男性44%の落差



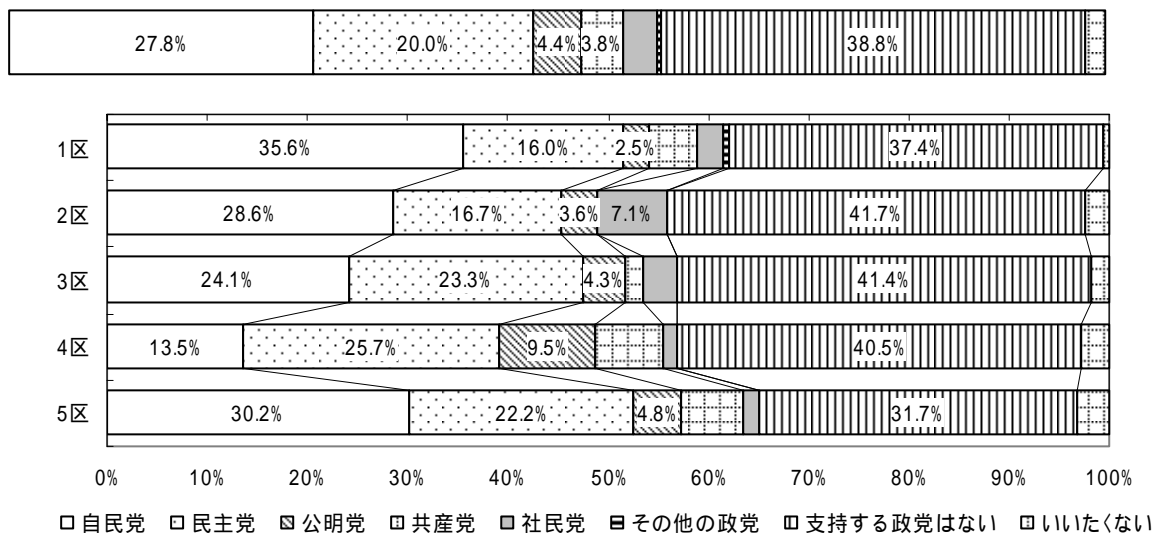
解散に踏み切った小泉内閣の「支持」が総体で約50%をクリア。しかし「不支持」も47%と拮抗する。「支持」が男性で44%と平均値を下回るが、女性では50%半ばに近づく。20、40代で「支持」が半数に届かず「不支持」で50%を超え、他の年代層との違いが際立つ。



		標本数	支持する	どちらかといえば 支持する	どちらかといえば 支持しない	支持しない	なんともいえ ない・わからない
全体		500	84	164	149	88	15
		100.0	16.8	32.8	29.8	17.6	3.0
年代	20代	55	23.6	20.0	34.5	20.0	1.8
	30代	93	19.4	34.4	31.2	10.8	4.3
	40代	98	8.2	34.7	32.7	19.4	5.1
	50代	101	18.8	32.7	30.7	15.8	2.0
	60代	82	11.0	41.5	24.4	20.7	2.4
	70歳以上	71	23.9	28.2	25.4	21.1	1.4
政党 支持	自民党	139	38.8	45.3	12.9	2.9	-
	民主党	100	4.0	19.0	42.0	35.0	-
	公明党	22	9.1	31.8	40.9	9.1	9.1
	共産党	19	-	21.1	21.1	52.6	5.3
	社民党	16	6.3	12.5	37.5	37.5	6.3
	その他の政党	1	100.0	-	-	-	-
	支持する政党はない いいたくない	194 9	10.8 11.1	33.5 44.4	35.6 11.1	14.9 22.2	5.2 11.1

政党支持

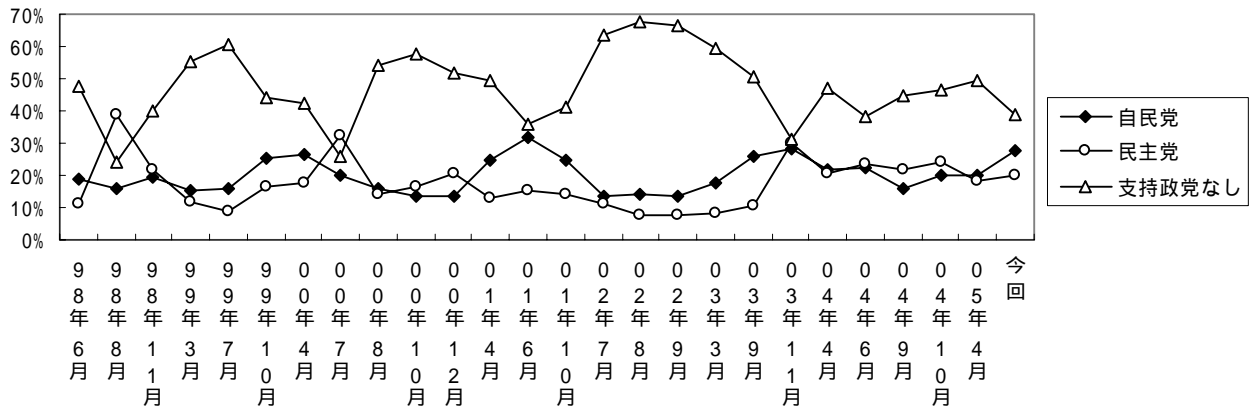
自民 27.8% 民主 20.0% 無党派層 38.8%



自民党が27.8%、民主党は20.0%と、その差は7.8ポイント。自民党に男女の差はほとんどみられないが、民主党では男性26% - 女性16%とこれまで同様、落差は解消されていない。

年代層では70代で自民党が半数に迫り、50代では自民29% - 民主16%の開きが著しいが、60代では接近する。20代では両党に違いはない。30、40代で無党派層が50%台に突出する。

選挙区で見ると、自民党は4区を除き民主党よりも優位に立ち、1区の36%が最も高い。4区で民主党が26%と、自民党の14%に差をつけ、3区でも伯仲している。



注：今回のみ市部限定サンプル

		標本数	自民党	民主党	公明党	共産党	社民党	その他の政党	支持する政党はない	いいくない
全体		500	139	100	22	19	16	1	194	9
		100.0	27.8	20.0	4.4	3.8	3.2	0.2	38.8	1.8
性別	男性	220	26.8	25.5	3.2	5.0	3.2	0.5	33.6	2.3
	女性	280	28.6	15.7	5.4	2.9	3.2	-	42.9	1.4
年代	20代	55	21.8	21.8	5.5	1.8	1.8	-	43.6	3.6
	30代	93	28.0	10.8	4.3	3.2	-	-	53.8	-
	40代	98	12.2	20.4	6.1	5.1	2.0	-	52.0	2.0
	50代	101	28.7	15.8	5.0	5.0	2.0	-	41.6	2.0
	60代	82	30.5	26.8	2.4	4.9	8.5	1.2	23.2	2.4
	70歳以上	71	49.3	28.2	2.8	1.4	5.6	-	11.3	1.4

単純集計

問1 あなたは、郵政民営化について、どう思いますか

	全体	男性	女性
賛成	28.6%	32.3%	25.7%
どちらかといえば 賛成	29.6%	25.5%	32.9%
どちらかといえば 反対	20.8%	18.2%	22.9%
反対	16.0%	19.1%	13.6%
なんともいえない・ わからない	5.0%	5.0%	5.0%

問2 民営化法案が衆議院で可決され、参議院では否決されました。あなたはどう思いますか

	全体	男性	女性
継続審議にするべきだった	31.6%	32.7%	30.7%
否決でよかった	23.8%	24.5%	23.2%
修正のうえ成立させるべきだった	22.4%	17.3%	26.4%
原案通り成立させるべきだった	17.4%	22.3%	13.6%
なんともいえない・ わからない	4.8%	3.2%	6.1%

問3 参議院本会議の法案採決では、多くの自民党議員が党の方針に反して、反対したり欠席しました。あなたはどう思いますか

	全体	男性	女性
大いに理解できる	14.4%	20.9%	9.3%
まあ理解できる	32.0%	30.5%	33.2%
あまり理解できない	36.2%	29.5%	41.4%
まったく理解できない	15.4%	17.3%	13.9%
なんともいえない・ わからない	2.0%	1.8%	2.1%

問4 小泉首相が法案否決をうけて衆議院を解散し、総選挙が行われることになりました。あなたはこうした政治手法をどう思いますか

	全体	男性	女性
当然だと思う	17.0%	21.8%	13.2%
仕方がないと思う	33.6%	28.6%	37.5%
あまりよくないと思う	27.2%	21.8%	31.4%
よくないと思う	21.0%	26.8%	16.4%
なんともいえない・ わからない	1.2%	0.9%	1.4%

問5 あなたは、衆院選の結果として、どんな政権ができるのが望ましいと思いますか

	全体	男性	女性
自民党中心の政権	37.2%	36.8%	37.5%
民主党中心の政権	28.4%	34.1%	23.9%
自民党、民主党以外の政党が中心の政権	9.0%	9.1%	8.9%
その他の政権	5.0%	6.4%	3.9%
なんともいえない・ わからない	20.4%	13.6%	25.7%

問6 あなたは、小泉内閣をどう思いますか

	全体	男性	女性
支持する	16.8%	17.3%	16.4%
どちらかといえば 支持する	32.8%	26.8%	37.5%
どちらかといえば 支持しない	29.8%	30.5%	29.3%
支持しない	17.6%	23.2%	13.2%
なんともいえない・ わからない	3.0%	2.3%	3.6%

問7 あなたは、どの政党を支持しますか

	全体	男性	女性
自民党	27.8%	26.8%	28.6%
民主党	20.0%	25.5%	15.7%
公明党	4.4%	3.2%	5.4%
共産党	3.8%	5.0%	2.9%
社民党	3.2%	3.2%	3.2%
その他の政党	0.2%	0.5%	0.0%
支持する政党はない いいたくない	38.8%	33.6%	42.9%
	1.8%	2.3%	1.4%

問8 あなたは、国政の課題として、次に挙げた項目では、何がもっとも重要だと思いますか

	全体	男性	女性
景気・雇用	26.4%	31.8%	22.1%
福祉・医療	26.0%	18.2%	32.1%
財政・行政	24.0%	26.4%	22.1%
教育	12.4%	10.0%	14.3%
安全保障・外交	7.6%	9.5%	6.1%
その他	1.2%	1.4%	1.1%
なんともいえない・ わからない	2.4%	2.7%	2.1%

質問票

読み上げない

- 問1 あなたは、郵政事業の民営化について、どう思いますか。
 賛成 反対
 どちらかといえば賛成 **なんともいえない・わからない**
 どちらかといえば反対
- 問2 民営化法案が衆議院で可決され、参議院では否決されました。あなたはどう思いますか。
 原案通り成立させるべきだった 否決でよかった
 修正のうえ成立させるべきだった **なんともいえない・わからない**
 継続審議にするべきだった
- 問3 参議院本会議の法案採決では、多くの自民党議員が党の方針に対して、反対したり欠席しました。あなたはどう思いますか。
 大いに理解できる まったく理解できない
 まあ理解できる **なんともいえない・わからない**
 あまり理解できない
- 問4 小泉首相が法案否決をうけて衆議院を解散し、総選挙が行われることになりました。あなたは、こうした政治手法をどう思いますか。
 当然だと思う よくないと思う
 仕方がないと思う **なんともいえない・わからない**
 あまりよくないと思う
- 問5 あなたは、衆院選の結果として、どんな政権ができるのが望ましいと思いますか。
 自民党中心の政権 その他の政権 ()
 民主党中心の政権 **なんともいえない・わからない**
 自民党、民主党以外の政党が中心の政権
- 問6 あなたは、小泉内閣をどう思いますか。
 支持する 支持しない
 どちらかといえば支持する **なんともいえない・わからない**
 どちらかといえば支持しない
- 問7 あなたは、どの政党を支持しますか。
 自民党 公明党 社民党 支持する政党はない
 民主党 共産党 その他の政党 () **言いたくない**
- 問8 あなたは、国政の課題として、次に挙げた項目では、何がもっとも重要だと思いますか。
 教育 福祉・医療 安全保障・外交 **なんともいえない・**
 財政・行政 景気・雇用 その他 () **わからない**
- F 1 性別 男性 女性
- F 2 年代 20代 40代 60代
 30代 50代 70代
- F 3 職業 事務系、技術系の勤め 農・林・漁業
 サービス系の勤め 主婦
 現業系の勤め 無職
 役員・管理職・自由業 その他
 商工・自営業 ()
- F 4 市番号
- F 5 選挙区 1区 2区 3区 4区 5区